



社協だより

美里町社会福祉協議会

- 発行
社会福祉法人
美里町社会福祉協議会
- 住所
児玉郡美里町大字木部538-5
(美里町保健センター内)
- 電話
(0495) 76-3601
75-1109
- FAX
(0495) 75-1110
- 発行日
平成24年3月30日



児玉郡市ボランティア・福祉教育講演会

2月19日に本庄市児玉文化会館セルディにて、児玉郡市内の社会福祉協議会共催の講演会が開催されました。講師には、自転車で日本一周や海外で自転車旅をしながらボランティア活動に従事し、東日本大震災では福島県新地町で災害ボランティアセンタースタッフとして5ヶ月間活動してきた西川昌徳氏をお招きしました。

もくじ

あったかい気持ちに感謝します.....	2
各種事業のご案内.....	3
ひとり暮らし高齢者支援事業.....	4
社協に寄せられた皆様からの善意.....	5
児玉地域ボランティア連絡協議会.....	6
進め!! ぼらんていあ.....	7

2012
No.10

あったかい気持ちに感謝します

赤十字社資募集

一般社資募集額
(3月1日現在)

800,000円



日本赤十字社は、赤十字の理念でもある人道にもとづいて、次のような事業を実施しています。

この人道的事業を行うための活動資金は、毎年5月の強化月間に住民の皆様から寄せられた社資（寄付金）で賄われています。

- 災害救護（国際救援）活動
- 救急医療活動・看護師養成
- 救急法、家庭看護法等講習会
- 赤十字ボランティア活動
- 献血などの血液事業
- 地域の社会福祉活動推進

赤い羽根共同募金

10月1日から全国一斉に実施された「赤い羽根共同募金」は、配分金として、美里町では左記のように活用されています。

- 社協だより作成
- いきいき対策事業支援
- 世代間交流事業
- ひとり暮らし高齢者配食・会食サービス
- 福祉・ボランティア教材整備
- 高齢者、障害者団体活動支援
- 学童クラブ活動支援

募金総額 **2,029,255円** (3月1日現在)

戸別募金	1,278,580円	各行政区（区長）に依頼
学校募金	9,088円	町内各小・中学校
職域募金	519,587円	福祉施設・団体、民生児童委員協議会、役場職員など
法人募金	222,000円	会社・事務所

地域歳末たすけあい募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに昨年12月から各地で展開されました。

募金総額 **1,901,719円** (3月1日現在)



寝たきり高齢者、
重度心身障害児者
(72人)
360,000円

経費、
繰越金
340,719円

美里町においても各行政区ごとに募金活動が実施され、町民の皆様や各種団体などから寄せられた貴重な浄財は、配分委員会で町内の要援護家庭や施設等入所者などに贈ることが決定され、図表のとおり配分させていただきました。

ご協力ありがとうございました

・・・各種事業のご案内・・・

世代間交流 ゲートボール大会

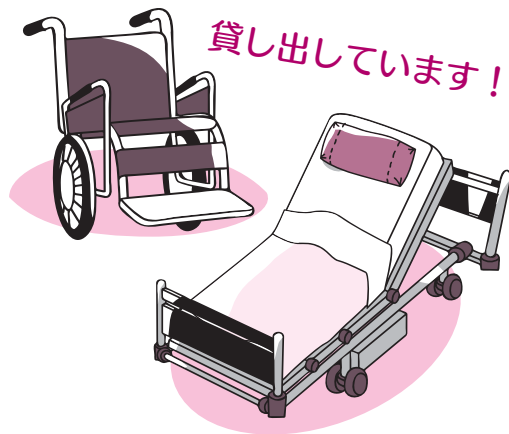
11月23日、遺跡の森ゲートボール場で地域の児童と高齢者の交流を図り、お互いを理解しあうことにより福祉の向上を目的としたゲートボール大会を開催しました。

当日は、参加した小学生や学校の先生、高齢者達からゲートボールのルールの話しや日常生活の話題など、和やかな会話が聞こえてきました。

試合は、小学生チームの飲みこみの速さと勢いには目を見張るものがありました。が、経験を活かした戦略を持った高齢者チームが貫禄を見せていました。



福祉機器等の貸し出し



車イスや介護ベッドなど福祉機器の貸し出しを行っています。

福祉機器を借りられるのは、原則として介護保険サービスを利用していないかたで一時的に必要とするかたが対象となります。

これらの機器は、今まで町民の皆さんや各団体から寄贈された物品も含まれ、有効に活用させていただいています。

また、体験学習用の機材として、各学校や団体などに高齢者の疑似体験が出来るセットの貸し出しも行っています。ぜひ、ご活用ください。

社会福祉協力校

社会福祉協議会では、児童生徒に社会福祉への関心を高めてもらい、家庭や地域社会で福祉の啓発を図ってもらうため、町内の各小・中学校を社会福祉協力校として指定しています。

主な活動内容

- ・福祉施設への訪問やボランティア活動
- ・本庄特別支援学校との交流
- ・ボランティア活動者等の講話
- ・手話や車イス・高齢者疑似体験等
- ・高齢者を行事へ招待して交流を図る
- ・各種募金活動への協力



ひとり暮らし高齢者支援事業

○配食サービス

毎月、申請のあったひとり暮らし高齢者のかたにお弁当を配送しています。

月2回の配食サービスも利用者からは、回数がもつとあるといいのこゝの声が届くほど好評で、大変喜んでいただいています。栄養面が気になっていたり、料理が苦手な方、ぜひ一度利用してみてください。

利用の方法などは、各地域の民生委員さんか社会福祉協議会に連



絡していただければ詳しく説明いたします。

また、配食サービスはボランティア（食生活改善推進員、配達ボランティア）のかたがたの協力で成り立っています。皆さんには心より感謝しております。

皆様の健康を考えた食事と見守りを兼ねたこのサービスを、より多くのひとり暮らし高齢者のかたがたに利用していただけたらと思っております。

申込み、問い合わせをお待ちしています。

○会食サービス

今年度の会食会は、12月14日にコミュニティセンターで開催しました。

児玉警察署生活安全課を招き、高齢者向けの自転車に乗る時の交通ルールや、事故に遭わないための歩行者のルールなどの講話を聞きました。

また、美里ミュージックベルの会の皆さんによる演奏や、心地よいベルの音に合わせてクリスマスソングをみんなで歌ったりして、



参加した皆さんは笑顔で楽しい時間を過ごしていました。

その後、食生活改善推進員のかたがたが調理してくれたお弁当や温かいお味噌汁などを参加者全員でいただきました。

みんなで談笑しながら食事をすることが普段は余りないので、皆さん楽しい時間を過ごせたと好評でした。

次回も高齢者のかたがたに楽しんでいただき、より多くの高齢者のかたが参加できるサービスを考えていきます。

まだ参加したことがないかた、送迎がないと行けないかたなど、遠慮しないで気軽に声がけて、ぜひ一度参加してみてください。



社協に寄せられた 皆様からの善意

次のかたがたから社会福祉協議会にご寄付をいただきました。

これらの寄付金は、社会福祉向上のために活用させていただきます。

ありがとうございました。

寄付者名	金額
児玉郡市温室鉢物研究会様	25,000円
平和を願うコンサート実行委員会様	20,000円
美里町ダンス協会様	10,000円
美里カラオケ愛好会様	10,000円
KR&NCリズムなわとびクラブ様	50,000円
美里の21世紀を考える女性の会様	5,000円

(平成23年4月1日～平成24年3月1日)

心配ごと相談

無料

家族、法律、財産、生計などの悩みごとに民生児童委員、人権擁護委員、行政相談委員の皆さんが相談に応じます。



相談日 毎月第3金曜日
(祝祭日の場合は、その前日の木曜日になります)
時間 午前10時～正午
場所 美里町役場205会議室

1歳から6歳未満までの幼児を対象にした、こどもに起こりやすい事故の予防と応急手当やAED(自動体外式除細動器)の知識と実技を学びます。
講習日 7月7日(土)
午前10時～午後4時
会場 美里町保健センター
対象者 規定時間参加できるか
定員 20名
(応募者多数の場合は抽選)



赤十字幼児安全法講習会

受講者募集

受講料 無料
(ただし教材費等として300円)
申込み 6月15日(金)までに社会福祉協議会へ
その他 託児の希望がある場合は、その旨「男(女)児、〇歳、〇名」と申込みください

美里町の人口と高齢化率

(3月1日現在)

- 人口 □……………11,660人
- 65歳以上……………2,873人
- 高齢化率……………24.6%

児玉地域ボランティア連絡協議会

この協議会は、児玉地域のボランティア団体、福祉施設、行政、社会福祉協議会等で構成され、団体相互の連携を密にし、児玉地域におけるボランティア活動の促進を目的としています。

この事業に関わっていた
いただいた皆さん、
本当にありがとうございます。
ありがとうございました。
次回開催の時は、より多くの皆さんのご協力をお願いします。



児玉郡市内のゆるキャラも勢ぞろい

「キャンドルナイト2011」共催

今まで本庄市内で開催されてきたキャンドルナイト事業が、今回初めて美里町の遺跡の森総合グラウンドに会場を移して実施されました。

雨天により11月20日へ順延されたところ、穏やかな天候のなか作業も順調に進み、廃油を使つて作成した5万5千個のキャンドルに、地域の子どもたちのメッセージやイラストを描いた手作りカバーを設置し終わる頃、予想以上の風が吹きはじめ設置したキャンドルやカバーが飛ばされてしまいました。

結局、その日は最後まで風が弱まらず、大勢の皆さんに来場していただきましたが、すべてのキャンドルに灯をともすことは出来ませんでした。

関越自動車道側道を清掃活動



身近に出来るボランティア活動の一環として、地域を少しでもきれいにしよう
と関越道の側道に捨てられたゴミ拾いを行いました。

今年度は、10月30日に上里町で、続いて12月4日には美里町と、清掃活動を2回実施しました。

美里町の清掃日は、天気にも恵まれ21名のボランティアが集まり、約80kgものゴミが集まりました。



「東日本大震災での救護活動報告」を実施

この講演会は、2月22日に本庄市中央公民館を会場に開催されました。

東日本大震災により、実際に現地で救護活動や被災者への心のケア活動を行ってきた日本赤十字社埼玉県支部の職員を講師に迎え、赤十字が行っている被災地での活動映像なども含めて講演していただきました。

被災地での活動の様子を聞いて、私たちに出来ることをあらためて考えてもらおうと実施したもので、参加された皆さんは被災地へのいろいろな想いを各々感じながら聴講していました。



進め!! ぼらんていあ

被災地復興支援に行ってきました

美里町社協では、関東甲信越静ブロック都県・政令市社協災害時相互支援協定に基づく復興支援要請により、福島県北にある相馬郡新地町の「新地町災害ボランティアセンター」に6月21日から6日間、職員を派遣しました。

新地町は、約16mもの大きな津波により町の面積の約5分の1が浸水被害に遭い、海岸沿いの地区だけでなく、内陸部の地区のかたがたも犠牲になりました。職員が派遣されている頃も漁船やテトラポットが破壊流出し、町の至るところに散



乱しているなど大変被害の大きい所です。

派遣先では、災害ボランティアセンターにて総務班の業務に携わりました。業務内容としては、全国から問合わせがあるボランティアについての対応やボランティア数の集計・報告。また、来所するボランティアが活動しやすいように、調整・対応することなどでした。仮設住宅での炊き出しに参加した時、新地町の人々がみんな助けあい、希望を持って前向きに生活している姿が印象的でした。



児玉郡市ボランティア・福祉教育講演会

表紙にも掲載しました講演会は、地域福祉の推進には住民同士、地域のつながりが必要であり、そのためにはどうしたらよいか、住民自身が地域の問題に気づき、地域福祉を推進するためのきっかけ作りになることを、東日本震災による復興支援活動の体験

談から「誰かを思いやること」について、あらためて考えることを目的に開催しました。当日は、会場が満席になるほど集まり、自転車で世界を旅して言葉が通じない国での「人とのふれあい」や、ボラ

ンティア活動をして「人を思いやること」の大切さを話していただきました。

参加者の一人は「たくさんの人に聞いてほしい。講師の活動をとおして、ボランティアに対する姿勢や人と人のつながり等が大切だと感じました」と感想を話してくれました。

「誰かを思いやること」について、あらためて考えることを目的に開催しました。



災害ボランティアバス

東日本大震災により甚大な被害を受けた地域を支援するため、災害ボランティアを募集し、岩手県野田村でボランティア活動を行いました。

今回参加したボランティアは、原田町長（社協会長）をはじめとする役場職員、NPO法人みさと応援隊、商工会会員の合計21名です。

7月1日（金）午後9時に美里町を出発し、関越・北関東・東北・八戸自動車道の道のりを車中で睡眠をとりながら岩手県野田村へ向かいました。

7月2日（土）早朝に野田村災害ボランティアセンターへ到着し、「やませ」という霧に覆われているなか午前9時に瓦礫除去のボランティア活動を開始し、休憩や昼食を摂って午後4時に作業を終了し、帰りは往路と同じ高速自動車道を南下しながら車中で睡眠をとりました。

7月3日（日）早朝の午前4時50分頃に美里町へ到着となり、参加者たちは解散しました。

皆さん0泊3日という強行日程という災害ボランティアに参加していただきまして本当にありがとうございました。



高校生ワークキャンプ

8月1日から3日まで、2泊3日の日程で高校生を対象にしたワークキャンプを実施しました。

会場は、社会福祉法人「美里会」で今年度は県内の高校から18名の参加がありました。

このワークキャンプは、社会福祉についての理解と関心を高めることを目的とした事業で、期間中は施設利用者の入浴や食事、施設の行事などのお手伝いをして交流を深めました。



参加者のうち6名が男子生徒であったことから、とても明るい雰囲気になり盛り上げてもらいながら力が必要なボランティアも積極的にお手伝いしてもらいました。

美里町から参加した大澤あかりさんは「施設を利用されているお年寄りの皆さんと話をする時、すごくうれしそうで、その顔を見ることで私までとてもうれしくなりました。」と話してくれました。